

四四〇五番

我が妹子が 偲ひにせよと 付けし紐 糸になる
とも 我は解かじとよ

四四〇六番

我が家ろに 行かも人もが 草枕 旅は苦しと
告げ遣らまくも

四四〇七番

日な曇り 碓氷の坂を 越えしだに 妹が恋ひし
く 忘れえぬかも